

## 令和元年度 第1回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和元年5月29日（水曜日） 10時から11時30分まで  
会場 東京都心身障害者福祉センター 12階研修室  
出席者 佐藤委員、秋元委員、塚田委員、堤委員、杉田委員、池田委員、中島委員、花形委員、  
吉澤委員、北川委員  
欠席者 藤井委員  
傍聴 7名  
事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長森下 他6名

### 1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料確認</li><li>次第</li><li>資料1 令和元年度東京都相談支援従事者研修検討会委員名簿</li><li>資料2 東京都相談支援従事者研修検討会設置要綱</li><li>資料3 障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案）</li><li>資料4 令和元年度障害者総合支援法等関連研修 年間スケジュール（案）</li><li>資料5 令和元年度東京都相談支援従事者研修検討会 年間活動方針及び計画案について</li><li>参考資料1 東京都における相談支援従事者各研修で取り扱うテーマと平成30年度検討会で出ている意見</li><li>参考資料2 私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver. 6</li><li>参考資料3 平成30年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告 平成30年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告</li><li>・本日は、記録のための録音、また、傍聴者がいることについてご了解いただきたい。</li><li>・検討会の議事録や資料について、公開の是非を検討していただきたい。</li><li>・委員の皆様は、委嘱をさせていただく。本来であれば発令通知をお送りするところだが、本日委嘱状を机の上に置かせていただいた。</li></ul>
-----	---

### 2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

地域支援課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・お忙しい中、委員の就任並びに会議の参加についてお礼申し上げます。</li><li>・昨年度より相談支援従事者研修検討会とサービス管理責任者等研修検討会の2つの検討会を立ち上げた。制度の改正のための検討を進めていくところである。</li><li>・相談支援従事者研修については、新たなカリキュラムの実施延期があったが、具体的な内容について検討していただいているところ。</li><li>・5月27日に自立支援協議会第1回本会議が開催された。昨年度の報告をした。今後も活動内容の報告をしていくとともに、当センターのホームページで資料や会議報告を公開し、広く発信していきたい。</li></ul>
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を担う人材の養成は課題となっている。しっかり育成していきたい。</li> <li>・限られた時間ではあるが、議論を有意義に行っていただきたい。</li> </ul>
--	--

### 3 委員紹介

#### ○自己紹介

各委員	(省略)
-----	------

### 4 委員長・副委員長選出及び委員長挨拶

杉田委員	・昨年度に引き続き、法政大学の佐藤教授を推薦する。
各委員	・承認する。
事務局	・副委員長については、委員長が指名することでどうか。
佐藤委員長	・副委員長については、昨年度同様、話し合いをもって決めていきたい。
各委員	・承認する。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も検討会で一緒させていただく。毎回議論もありながらいろいろ勉強させていただいている。</li> <li>・東京都は全国から注目されていると感じる。皆さんの知恵を拝借しながら、検討会を進めていきたい。</li> </ul>
事務局	・これより先の進行は、佐藤委員長にお願いする。

### 5 検討事項

#### (1) 年間研修実施計画について

佐藤委員長	・今年度の相談支援従事者研修実施計画について事務局から説明いただきたい。
事務局	<p>(資料4 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援従事者初任者研修は年2回、1回目は6月下旬から7月。2回目は1月から2月にかけて実施予定</li> <li>・現任研修は9月から10月にかけて実施予定</li> <li>・今年度から相談支援従事者主任研修がスタートする予定</li> <li>・専門コース別研修も今年度初めて実施する。時期は調整中だが、主任研修の合間をぬって行う予定</li> <li>・国の指導者養成研修は9月に実施される。国が行う主任相談支援専門員養成研修が12月から1月あたりで行われる予定</li> </ul>
佐藤委員長	・質問等がなければ、次の説明に移っていただく。

事務局	<p>(資料5 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を作成するまでの経過をお伝えするため、国の動きを説明する。</li> <li>・主任研修については、要綱が3月末に発出された。</li> <li>・初任者研修と現任研修については、4月10日付けで「相談支援の質の向上に向けた検討会」の取りまとめを行い、新たな要綱案が示された。</li> <li>・国は今年度の早い時期に新たな要綱の発出を目指しているとのこと。</li> <li>・来年度新カリキュラムがスタートすると考え、東京都としての活動方針案、計画案を作成した。</li> <li>・まず、主任研修のカリキュラムを作成し、教材（演習ノート、ツール）を完成させる。</li> <li>・次に、新カリキュラムに沿った初任者研修、現任研修の教材を完成させる。</li> <li>・最後に、研修間で重なるテーマについて、再調整をすることの3点を活動方針案とした。</li> <li>・検討体制案は、チームに分かれて同時進行で行いたい。</li> <li>・主任研修チームは6名体制とした。初任者研修チームは昨年と同じ4名体制。現任研修チームも昨年度同様6名体制</li> <li>・検討会は年4回。1回目は本日5月29日。2回目は8月。主任研修の教材は8月までに完成させたい。</li> <li>・3回目は10月。国の指導者養成研修の報告を踏まえて初任者研修、現任研修の教材作りに活かす。</li> <li>・4回目は3月、教材完成と年間のまとめ</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討体制のメンバーは案のとおりで良いか。</li> <li>・取りまとめのチームリーダーを決めてほしい。チームリーダーは副委員長も兼務するというようお願いしたい。</li> </ul>
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修チームのボリュームが今年が多い。講義部分の検討は手をつけていなかったなので、人数がもう少し必要</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修チーム4名、現任研修チーム6名だが、バランスを考えてみても、それぞれ5名ずつでどうか。</li> </ul>
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修チームは昨年、協力者に入ってもらい、力になった。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスをとり、現任研修チームから初任者研修チームに1人移ってもらいたい。そうすることで両研修のつながりについて見てもらえると良いと思う。指名でなく、挙手でお願いをしたい。</li> </ul>
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私が現任研修チームから初任者研修チームへ移る。</li> </ul>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承認する。</li> </ul>

(2) 相談支援従事者各研修で取り扱うテーマの整理について

佐藤委員長	<p>(参考資料1 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新初任者研修、新現任研修、演習指導者養成研修、主任研修、専門コース別研修の5種類の研修の共通するところを理解するために参考になる資料である。</li> <li>・初任、現任、主任の地域づくりについて、それぞれ、どこまで取り上げるのか。</li> <li>・スーパービジョンは、現任では講義でのみ触れられるので、カリキュラムとして重なるわけではないが、どこの研修で、どう比重をおいていくか。各研修のポイントを決めた方が良いか。</li> <li>・テーマの重なりについてもご意見いただきたい。</li> </ul>
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域づくり」の欄に「このままで良い」とあるが、昨年度の検討会でそのように決定したか確認したい。意見が出て、地域づくりまでやるかどうか、という意見交換をしたが、このままで良い、となったかどうか。更に、初任者研修で扱うのは難しい。もう少し簡単にしてはどうかという意見が、初任者研修チームから出たが掲載されていない。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し段階的に考えていく必要があるということか。</li> </ul>
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修の内容がタイトだ。国のガイドラインでもここまで書かれていないので、地域づくりはあえてやらないという選択もあるのではないか。</li> <li>・全くなくす必要はないが、アセスメントに時間をかけた方がいいと思う。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修チームで重なり合う部分を言語化していく必要がある、という部分にも関係するのではないか。</li> </ul>
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重なる部分ではなく、あくまで初任者研修でスーパービジョンとかファイブピクチャーズとか難しい言葉が出てきているので、もう少し簡潔な表現でテキストを作れないか、ということを前回の検討会で問題提起した。</li> <li>・難しくなった、というのは他のチームからも出ていたので、共通な意見だったのではないかと思う。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修はわかりやすい言葉を使う。現任研修での言葉の使い方など、ご意見のある方はいらっしゃるか。</li> </ul>
吉澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修で取り扱うテーマの整理という視点では、このままで良いと思う。</li> <li>・地域課題は、主任研修チームより現任研修チームのボリュームが多く質的にも違う内容になる。どう検討していくのかの枠組みの整理が大事</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5本走らせるので、接続的なところを意識化したい。特に地域課題。初任、現任、主任すべてに丸がついているのが「地域課題」。共通事項にしたことが良いものもあるのか等を意識化して、今後の検討をしていただきたいと思った。</li> </ul>
塚田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の主任研修では、「地域課題」は何をしてきたのか。現任研修とは違っているのか。また、課題と感じたところはあるか。</li> </ul>

中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の主任研修は、都の現任研修で取り組んでいる内容に上乘せした形。地域にアプローチしていくのが主任研修のほうで、現任研修の新カリキュラムではそこまで広げていない。初任者研修の地域課題は「地域課題があるよ」というところまで。</li> <li>・同じ「地域課題」という言葉の中でもアプローチやとらえ方のところでは3研修とも違っていた。</li> <li>・現任研修の新カリキュラムはこれまでの課題を踏み込むところまでやるのか、構造化されている地域の仕組みをとらえるところまでで留まるのかということ、整理ができていないで終わった。</li> <li>・現任研修と主任研修の地域課題の取り扱い方は整理が必要と思っている。</li> </ul>
塚田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修は「地域課題がある」ということを意識してもらおうというところまではわかるが、そこから先が今一つわからない。現任研修では地域課題をあげられるまで、ということか。</li> </ul>
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会等の地域の仕組みに対して、地域課題があった時に、地域を巻き込んでいくあたりまで。埼玉県で行ったモデル研修でもこれに近いものだった。</li> <li>・地域をどう巻き込んで、地域課題をどう解決していくのかは主任研修となる。現任研修は、「自立支援協議会がありますよとか、こういうものがありますよ」という中で現任者として、あなたたちもこれから取り組んでいきましょうということだったと私は整理した。</li> </ul>
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県のモデル研修では、初任者研修は「地域づくりをやろうね」というところで、現任研修は「やらなきゃいけないよね」、主任研修は「もちろんやって、地域をちゃんとしなさいよ」という感じ。現任研修では、地域に帰ってやるべきことをしっかり宿題としても出てくる。</li> <li>・去年のまとめでは、東京都は先行してやってきたし、それをやってきた人たちもいる。そして、その人たちがまた研修を受けに来る中でバージョンアップすることは悪くないが、地域づくりはボリュームがあるので整理が必要ということになった。</li> <li>・初任者研修でやってきたことも、変える必要はないが、ボリュームを押さえ、現任にきちんとつなげる。東京都らしさを考えた時に、地域の差や分かりにくさがあり、一律に研修として取り上げるのは難しいが、先取りしていることを巻き戻す必要はないという意見だったと思う。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研修の教材づくりが大きなボリュームになるが、つくりながらすりあわせをしていただくことになる。イメージの共通認識をもてたと思うので、チームでの話し合いにも活かしていただきたい。</li> <li>・他の課題についてはいかがか。</li> </ul>

堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現任研修では、スーパービジョンを講義で行い、主任研修で実技を行うイメージ</li> <li>・ 現在の現任研修では、課題焦点型スーパービジョンというのを演習で実技を行っていた。</li> <li>・ 地域課題は大事なので現任研修でも先取りして取り入れるとして、スーパービジョンは、現任研修は講義だけにして、主任研修でじっくりやることで、研修の個性が出せると思った。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現任研修でスーパービジョンの講義をどこまでやるか、というのも主任研修とのすり合わせになってくると思う。</li> </ul>
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の現任研修では、スーパービジョンをスライドでしっかりやるので、あそこまでやると実技もしっかりやりたくなるが、デモンストレーションでとどめるとか。</li> <li>・ 主任研修では他の形のスーパービジョンをやらなきゃいけないと思う。</li> <li>・ 東京都は色々なところで先取りしていて、内容がタイトになっているので、主任研修が出たところで少しゆったりできると良いと思う。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパービジョンは講義だけだとイメージしにくい。</li> <li>・ スキルを獲得していくことがステップとして大事。主任研修のグレードアップをどこまで取り組むのかは難しい。検討しながら進めていただきたい。</li> <li>・ ここまで共通事項の確認をさせていただいた。</li> <li>・ チームでの話の時間を多くとりたいので、次の内容に移る。</li> </ul>

### (3) 厚生労働省主催の相談支援従事者指導者養成研修及び相談支援従事者主任研修の参加について

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者養成研修は9月、主任研修は12月か1月に実施の見込み。</li> <li>・ 指導者養成研修は3日間、主任研修は5日間で修了者には修了証書が出る。所属の事業所にご協力いただかなくてはいけないということもあるので、年間どのような考え方で、どなたに行っていただくかご意見をいただきたい。</li> <li>・ 国が定員を示しているが、東京都はプラスアルファの受講を認めていただいていた。人数についても考え方を整理させていただきたい。</li> <li>・ 国からの推薦依頼は約1か月前なので、準備のため、ここでご相談させていただきたい。</li> </ul>
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年の9月の国研修は、昨年までに初任者研修と現任研修の新カリキュラムを既に取り上げているので、今後カリキュラムづくりの軸としたいのは主任研修だと思う。であれば、今年度、東京都の主任研修を回していく人たちが受講できるとスムーズ</li> <li>・ 国の主任研修は、東京都の主任研修を検証するために同じ人が行くのか、次につなげるために去年国研修を受講していない検討会委員に行っていただくのが良いのか悩ましい。</li> <li>・ 8月までに主任研修の教材をつくらなければいけないことは決まっている。</li> </ul>

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研修には昨年度出ていない方に出ていただきたい。</li> </ul>
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の行う主任研修にも検討会委員は受講できると思うので、2つ選択肢がある。</li> <li>・東京都はきっとまた主任研修も国に先行するカリキュラムをつくる気がする。そこを踏まえた上で誰が行くかを考えたい。</li> <li>・東京都の主任研修の申込方法は決まっているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の検討会でいただいたご意見を踏まえた受講者の決定をしたいが、まだ調整中で具体的には決まっていない。</li> </ul>
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研修には受講要件がある。何年か相談支援専門員をやっていないといけない。今回は要件を明確にして、職場の理解がある人が行くのがよい。</li> </ul>
吉澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年の国の主任研修は伝達研修だった。そういう意味では主任相談支援専門員の資格を取得するためではなく、情報を得るという意味で、検討会委員が受講したら良いのではないかと思う。</li> </ul>
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正直なところ、今年度の両方の国研修の中身のイメージができない。去年と全く同じ話をするのか、東京都の主任研修の後に国の主任研修が行われるが、それを見直すことに使える内容になるのかも分からないし、9月の指導者養成研修も何をするのか、専門コース別研修に焦点を当てた話をするのか、何をやるのか分からない。</li> </ul>
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年1月から3月にかけて「相談支援の質の向上に向けた検討会」が行われて、熊谷先生やヒューマンケア協会の中西さんがかなり当事者主体のテキスト内容をつくって提案している。</li> <li>・6月から8月くらいまでかけてワーキンググループがテキストのガイドラインをつくるという流れがある。</li> <li>・おそらく、9月の指導者養成研修はガイドラインを中心とした内容になると思う。</li> <li>・今回、私はワーキンググループのメンバーになった。国のワーキングの立場で行ければそれで参加するし、そちらの立場がなければ、東京都からの推薦で参加したい。</li> <li>・6月7日に第1回のワーキングがある。</li> </ul>
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマになりそうな内容が見えてきてからの人選では間に合わないか。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会委員で、まだ国研修に行っていらっしゃらない方に優先的にお声かけをさせていただくこと、もう少し概要が分かってきたところで、事務局の中でイメージするところも加味し、投げかけていくということによろしいか。</li> <li>・皆様には事業所のご都合が第一優先になると思う。</li> <li>・参加希望があれば承るが、受講の確約はできない。</li> </ul>
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の東京都の研修づくりを担ってくれるということで、検討会委員ではない方に受講してもらうことはどうか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去は国研修に参加してもらってから、検討会委員になっていただいたこともあったが、いきなり国研修に行く戸惑うことも多いという声もあり、都の研修に協力経験のある方に検討会委員になっていただき、国研修にも参加していただくようになった経過がある。</li> <li>・今回は新しい方と検討会委員の両方に参加していただき、といったご意見があればいただきたい。</li> </ul>
吉澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花形さんがおっしゃったような視点も必要だし、これから人数を確保していく意味でも、検討会委員だけではマンパワー的にも難しくなるので、検討会以外にも声をかけたらよいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人選については、改めてご意見をうかがい、具体的に声をかけさせていただきます。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしくお願ひしたい。</li> </ul>

#### (4) チームごとの話し合い

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この後は、チームごとの具体的な動きについて、チームごとに話し合っていたきたい。</li> <li>・話し合いの中でチームリーダーを決めていただきたい。</li> </ul>
	<p>&lt;チームリーダー（副委員長）の決定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修チーム：堤委員</li> <li>・現任研修チーム：藤井委員</li> <li>・主任研修チーム：吉澤委員</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回の日程は、8月13日の火曜日をお願いしたい。時間は改めて連絡する。</li> <li>・検討会の議事録や資料は、委員の意向で非公開にすることもできるが、今年度の4回については、ホームページに公開することによろしいか。</li> </ul>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承認する。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で進行を事務局に返す。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、初任者研修準備状況等をお伝えする。</li> <li>・第1回相談支援従事者初任者研修は、先日申込みを終了し、申込み数は413名で定員350名を上回った。</li> <li>・また、サービス管理責任者等研修で昨年度までに2日課程を終わっていない方を対象に80名の定員で募集し、139名の申込みがあった。</li> <li>・講義講師としてご登壇くださる方には、感謝申し上げます。</li> <li>・カリキュラムは前回と大きく変わっていないが、4日目の「障害者の生活ニーズ」はいろいろな障害の方にご登壇いただきたく、今回初めて慢性呼吸器機能障害の方にご登壇いただくことになった。精神障害の方には演習のサポーターとしてご協力いただいているので、「精神障害者の生活ニーズ」の講義と入れ替えた。</li> </ul>

・第2回検討会の資料についても事前にお送りするので、確認についてご協力いただきたい。

## 6 閉会